



つどいの場 ゆずりは

第13号
2024年1月

明けましておめでとうございます。 新年号は共同代表による対談をお送りします。



3月12日遊ぼう会(千一会館)



7月17日食べよう会(千一会館)



10月15日ミニバザー



11月12日バーベキュー(服部緑地公園)



12月24日クリスマス会



利用案内

開館日：水、木、金 曜日
第1,3火曜日、第4日曜日
≪開館日以外や夜間の利用は要相談≫
祝祭日は休館

時間：
平日13:00~16:30
日曜日13:00~16:00

利用料：一人当たり100円
空調使用料は200円

- ◆上記の利用料は施設維持費に使用します。
- ◆教室などの利用は原則2階部分です。
- ◆利用に当たり、会員登録が必要です。
- ◆利用申込みは、利用日の1か月前から受付。
- ◆当日キャンセルのみ利用料の全額を頂きます。
- ◆施設内は全面禁煙です。
- ◆来客用の自転車、バイクの駐輪スペースがありません。ご注意ください!

これからの主な行事予定

常設バザー

開館時に開催。

品物(食器は除く)の提供は随時受付。

障害者家族の会

毎月第2土曜日 13時~16時 参加費100円

第4日曜日に「小さな催し」の企画募集中です!

第4日曜日は麻雀、将棋、習字を実施しています。参加ください。

「作って食べよう会」「大人のおしゃべり会」は不定期で開催します。

ボランティア募集

自分の特技を生かして、“ゆずりは”を応援してください。**持ち込み企画大歓迎です。**

- ◆対象：ゆずりはの活動主旨に賛同して頂ける方ならどなたでも
- ◆内容：土日催しの手伝いなど

会員加入のお願い

ゆずりはの活動にご支援ください。

ゆずりはの活動は、事業収入と会員会費で支えられています。

会員の方には年2回の通信を送付させていただきます。

◆年間費：一口1000円から(何口でも)

◆振込先：

ゆうちょ振替口座：00940-4-236007

口座名義 ゆずりは

同封しました振込用紙をご利用ください。

つどいの場 ゆずりは 2023年決算報告 (2023年1月から2023年12月まで12か月間)

科目	金額	内訳
①収入の部		
事業収入	394,758	89,500 催し 66,178 バザー 99,880 会場貸 139,200 コーヒー他
カンパ	10,111	
会費	164,000	
収入合計	568,869	
②支出の部		
人件費	0	
報償費	0	
旅費交通費	0	
需用費	91,613	5,625 印刷、文房具、消耗品 58,984 催し経費 27,004 コーヒー他経費
役員費	44,870	9,560 通信費 35,310 任意賠償保険
水光熱費	56,231	電気・ガス・水道
備品購入費	2,490	
建物維持費	119,800	固定資産税
支出合計	315,004	
当期収支	253,865	①-②
経常収支	15	受取利息
期首残高	1,847,784	
期末残高	2,101,664	
当期会員数	85人	新規11人総数222人
催し参加者数	109人 (9回分)	
来場者総数	704人	

つどいの場 ゆずりは

〒564-0082 大阪府吹田市片山町1丁目4-7

TEL:090-9986-8635

メール: yuzuriha.suita@gmail.com

URL: https://yuzuriha-suita.jimdo.com/

アクセス

JR 東海道線
吹田駅 東
出口 徒歩
3分



「口ナ禍の3年を無事に乗り越え、「ゆずりは」は本年で8年目を迎えます。共同代表の高橋ま里子さんと森田啓子さんに、「今までこれから」について話を聞きました。そのダイジェストをお送りします。(啓子さんの略歴を添付します。ま里子さんは前年号を参照ください。)

2人の出会いを教えてください。

啓子 「よっといで祭り」のバザーで、ま里子さんに会っているの。そのときに売りのYさんの後ろで、「しそジュースいい」とか言ってる。ジュースを頂いたの。だから、そういう世話をちゃんときちんとされる人やと思った。哲ちゃんのお母さんとは知らなかった。

ま里子 私、あの頃から裏方が好きで、ウロウロしていた。啓子さんは、明るくし、しっかりしているし、私に無いものを一杯に持っているから、魅力を感じた。私はもともと引込んでいる方が好き。

啓子 私、ま里子さんがいなかったらここ、絶対できなかった。ま里子さんの人脈ってすごいから、人が人を呼んでくも一人やったらできない。

ゆずりは開設時の思惑と現実との違いは？

啓子 ま里子さんは哲ちゃんがこので何か仕事をするのを考えていたの。

今後のふたりの活動スタイルはどのよりにかわりますか。

ま里子 私としては歳やから、徐々に減らす方向。マンネリ化しているから、「もうこれでいいわ」という感じ。しかも人が来ないし、バザー商品も気が向かないときは出せへんのよ。啓子さんは、「かけはし」を何時か辞めるでしょう。

啓子 今まだわからない。辞めたいけど、やめられないの。75歳ぐらいまでかな。利用者さんもいるから。「ゆずりは」を開設して10年経ったら「かけはし」をやめて、「ゆずりは」にシフトしていこうと思ってる。でも、「難し」なってきた。だからまた、「かけはし」を見ながらここに通うようなことになる。何か中途半端でも申し訳ないけどでも、それでも関わっていたいと思ってる。ま里子さんの体がしんど

ま里子 仕事は、全然考えてなかった。みんなで友達作りみたいで、そういう場ができたらいいなと思ってる。でも、あの子の性格としては、ちよつと難しいかな。それとは別に、高次脳障がい者があまり来なかった。

啓子 障がいの種別は、どうでもよくて、同じ障がいを持たないと友達になるとかならないとかは違うかなと思ってる。

ま里子 うん。それもああるね。でもやはり、同じ障がいやったらその痛みがわかるっていうかな。「俺もこうなんやで」とか。だから、「忘れたことのない人」と話しても、「高次脳機能障がい」というのは何であるのか理解できていない。

啓子 そうですね。同一障がいの人達がなかなか集まらないですね。

ま里子 初めは、いろんな障がいの人がここへ来て、お母さんたちもここへ来て、ボランティアもしてもらって、みんなで、「わいわい」言えるような場にしたかった。なかなか難しい……。

イベントを土日取り組むと、新しい人が来るのは少ないが成功しています。平日の取り組みの問題点は？

ま里子 4〜5人は平日も来てほしいなと思う。現在は3人の常連さん。それ

くなくなってきたとき、私1人ではとても無理だから、応援してくれる人が早く欲しい。見つけないと、これから先が見えない。

ま里子 そうそう。やっぱ歳いつて来たら、何かほら病気に途中でなったりすると迷惑かけるじゃない。体に自信がなくなるって。

啓子 それはわかるわ。この1年である程度方向性を出さないとダメです。やっぱり、中途半端ではいかん。

ま里子 やっぱり情熱がちよつとやっぱなくなってきたね。初めの頃と比べて、

啓子 そりやそうやわ、初めは楽しかったもん。いろんなことやらしてもった。コロナで活動ができなかったのは大きい。

ま里子 ちよつと何かをやる言うたら、人を集めなあかんっていうのが頭にあ

でもね、食器なんかを知らない人が持つてきてくれる。ほとんど見たことない人。でもこうやって持つてきてくれるっていうことは、やっぱりここを知っているということ。

啓子 そういう繋がりはできている。広がっている。だけど、地域の居場所として発足したけど、その門はなかなか開けられないね。社会的な役割を痛感している。その難しさに頭を打っている。

ま里子 「集いの場」と言ったらちよつと、マンネリ化している。私としたらもうちよつといるんな障がい者のお母さんたちが来て欲しいなと思ってる。

啓子 例えばね、「お喋りしませんか」というのでは人が来ないですね。だから、週に1回とか2週間に1回ぐらいは、「ご飯を一緒に食べませんか」といえば来るかもしれない。何か目的を作らないと、人って集まれへんのかなと思う。例えば普通の日の曜日ごとに決めてやれば、人は集まると思う。

平日の来場者を増やすには、何かの企画が必要ですね。

ま里子 今となつたらもう「待っています」の方が私は楽でいいわ。今となつたらよ。1日だけちよつとお昼作る。

啓子 みんなに手伝ってもらってね。

ま里子 それでも初めは2人でやらないと、なかなかボランティアさん無理やと思うから。

るから、ちよつとしんどい。

啓子 7年間やって、一定の役割は終えたように思う。他の「居場所」が地域に沢山出来た。私たちは、私たちのスタイルで楽しみながら輪を広げて行きたい。

雑談もかねて2時間程度、「ゆずりは」の今までと今後について話していただきました。

今年で、ま里子さんは喜寿、啓子さんは古希を迎えます。体力も、意欲も少しずつ薄れてくるので、会員皆さんの善意にすがって、お力を貸してほしい。

「一緒にやりませんか」「ここを使って何かやりたい人いませんか」と呼びかけていました。

啓子 常連の人だけやったら、暇でしうがない。バザーの品物を出して、それを見てくれる人の対応するぐらいじゃないね。だから2階の利用もつと活発にさせて、頻度を上げる。それも一つですね。

ま里子 ううん。でも今、7年もやっているけど、そんなに使わないもん。体操するにはちよつと狭いね。会議か朗読とかが限界かも。

これからの運営について、週何日かを貸し出してしまうという発想はないですか。また障がい者の4時以降の場所にするというのはいかがですか。

ま里子 例えばその日はもう全部喫茶とかね、1日喫茶とかね。

啓子 まだ人に貸すまでは、今の段階ではちよつと無理かなとは思ったりする。だからもうちよつと工夫が要るかな。

ま里子 今作業所からの帰りは、ほとんど送迎が多い。自分の家にも送迎してもら。だから普段の日に、ここの利用は障がい者には無理ですね。

啓子 難しいね。Mちゃん見ているけど、電車を使って1人で通勤しているけど、寄り道して帰ることはない。夕方から開けたらどうかとか、障がい者がお茶飲みに来ないかなと思っていたけど、難しいかな。

ま里子 だから本当は土日に開けるのが一番いい。障がい者にはね。でも土日は私らも家庭があるからね。

主な活動歴 (2016～2023年)

- 2016年 (H28) 市民公益活動促進補助金受領。作って食べよう会開始 (毎月第4日曜日に開催)。落語会。三線ライブ。みんなで唄おう会。変身祭り。中途障がい者家族会開始。ゆずりは通信創刊。リコーダー演奏会。
- 2017年 (H29) ～2019年 (R1) 定例行事以外に、高次脳機能障がい学習会。音楽で元気に。おとなの飲み会開始。「吹田まつり in ゆずりは」。万博公園でバーベキュー。リコーダー演奏会。市民公益活動促進補助金受領。英会話教室開始。いきいき百歳体操開始。服部緑地でバーベキュー。文化交流会。
- 2020年 (R2) ～2023年 (R5) コロナ禍で一部定例行事を縮小。「北摂NPO・SB支援のための補助金プロジェクト」から補助金受領。腹話術。デイキャンプ。バザー。みんなで遊ぼう会 (千一コミセンと共同開催)。健康麻雀開始。服部緑地でバーベキュー。クリスマス会。

共同代表 森田啓子の略歴



第五福竜丸がアメリカの水爆実験で被ばくした1954年(昭和29)大阪市西淀川区で生まれる。東京オリンピック前年、9歳で母親が他界。第一次オイルショックの1973年(昭和48)大学入学時に父親が他界。母方の叔父さん宅で姉とお世話になる。歳が近い3人の従姉妹と計5人の娘と一緒に過ごした。

第2次オイルショックで就職難だったが某ハウスメーカーの関連会社に就職。「お茶くみ」業務に疑問を持ち、地域のサークル活動に専念する。高校時代から演劇に興味があり、「労演」の会員になり地域の有志劇団サークルで活動。

韓国で光州事件があった1980年(昭和55)に結婚。2児の母となる。産休講師を7年勤め、下の子供が就学後「くずは・まきの親と子の劇場」活動に専念する。

アメリカ9・11テロの前年、2000年(平成12)に枚方市から吹田市千里山に引っ越す。その翌年から大阪市内の障がい者作業所を手伝いはじめ、ヘルパー資格を取得。JR福知山線脱線事故があった2005年(平成17)に居宅介護事業所「かけはし」を仲間と開設。

2007年、「よっといで祭り」のヒューマンバザーで高橋ま里子さんと初めて会う。7年後の2014年に二人は「つどいの場」を作ることを決め、2016年3月から「ゆずりは」活動が始まる。「かけはし」、「ゆずりは」、「孫育て支援」の3輪で今年も古希を迎える。

ご報告

「ジョブサポート pass」開設

ゆずりは通信第11号(2022年7月)で特集しました岡松直治さんが障がい者の「就労継続支援b型事業所」を本年1月から開設されます。

3年間、ゆずりはで作業所準備センターを運営しながら、開設条件に見合う場所探しをされ、行政の認可のもと「誰でも好きなことに挑戦でき、誰でも気楽に集まれる」作業所を目指されます。通所希望者を募集中です！連絡先は下記まで

〒564-0032 吹田市内本町1-14-13
電話 080-8525-4285
E-mail pass.okamatu@outlook.jp
管理者 岡松直治